

常任委員会 予算特別委員会

Q & A

Q 五霞町地域福祉計画策定委員会の委員の選任方法と年間の実施回数。

A 委員構成につきましては、福祉関係者4名、教育関係者2名、学識経験者2名とその他町長が認める者2名の合計10名で構成され、23年度中には3回程度の開催を予定しています。

Q 木造住宅耐震診断の申請件数は。また、事業の周知方法は。

A 7件の申請があり、既に耐震診断を実施済みです。周知方法につきましては、回覧や広報紙への掲載、さらには町ホームページへの掲載をして周知しています。

Q 地域公共交通会議の内容はどのようなものか。

A 道路運送法に基づく法定協議会で、市町村等が新たな公共交通等を整備する場合に、町主催で地域公共交通会議を開き、その中で意見を集約し調整を行うものです。

Q 圏央道沿線地域産業活性化交流協議会の構成と活動内容は。

A 県内の圏央道沿線の市町で構成されており、県と13の市町で構成されています。主な活動内容は、沿線内各市町村の工業用地等立地の状況の情報交換や情報収集、更には県が中心となって、企業へのアンケート等を行っています。

Q 町内の未耕作地の実態把握はどのようにしているのか。

A 町では、10月に一斉の耕作放棄地の集中パトロールを行っており、平成22年度につきましては、5万6612㎡の未耕作地を把握しています。



五霞東部地区水処理センター

Q 町内4か所の農業集落排水の接続率は。

A 大福田地区96・3%、北部地区87・1%、東部地区97・5%、南部地区85・6%の接続率です。

Q 東北本線南古河駅設置促進期成同盟会の活動内容はどのようになっているのか。

A 年に1回程度、会議を行って要望等を行っています。

Q ごみ収集カレンダーの行政組合未加入世帯への配布はどのようにしているのか。

A 行政区長さんに配布して頂ける行政区以外は、町から郵送をしています。

Q 西小学校の多目的教室のエアコン修繕の予算は。

A 学校管理備品の中で、73万5000円を計上しています。

Q 不法投棄の現状は。
A 22年度の不法投棄件数は非常に多く82件で、最近の傾向としては、テレビの不法投棄が多い傾向にあります。また、土地改良区の排水路に投棄されるケースが非常に多くなっています。



不法投棄現場